

放水立坑（上流水槽）上流海水配管水の分析結果

要約	分析値	187～233 (Bq/L) (1,500Bq/L未満の確認)
	計算比較	計算値 (128～510Bq/L) と同程度を確認 ※2

放射能分析 トリチウム

核種	採取日時	分析結果		
		分析値 (Bq/L)	不確かさ ※1 (Bq/L)	検出限界値 (Bq/L)
H-3	2024/03/06 08:11	2.1E+02	± 2.3E+01	6.0E+00

・ $0.0E\pm 0$ とは、 $0.0\times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

※1 「不確かさ」とは分析データの精度を意味している。

「不確かさ」は「拡張不確かさ：包含係数 $k=2$ 」を用いて算出している。

※2 「計算値」とは、測定・確認用設備で分析したトリチウム濃度とALPS処理水、海水の流量比から計算で求めた値。

「計算値」は当社ホームページに掲載している「希釈後トリチウム濃度」を指し、潮位などにより、わずかに変動するが一日をとおして変化するものではないため、原則、試料採取日の7時の値を用いて計算比較する。

https://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f1-rt/html-i/f1-alps_fd-month-sel-i.html

分析値は、混合希釈の不確かさ（ $1/2\times$ 計算値～ $2\times$ 計算値）を考慮した計算値と比較する。